

スポーツツーリズム推進基本方針(ポイント) ~スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン~



観光庁

スポーツとツーリズムの融合で目指すべき姿

「より豊かなニッポン観光の創造」スポーツを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、我が国の多種多様な地域観光資源を顕在化させ、訪日旅行・国内観光を活性化 「スポーツとツーリズムの更なる融合」更に意図的に融合させることにより目的地へ旅する明確な理由を作り出し、新しい価値・感動とともに新たなビジネス・環境を創出



訪日外国人旅行者の増加

MAPAR

国際イベントの開催件数増加

国内観光旅行の宿泊数・消費額増加

かんばらう!日本

「スポーツ立国戦略」 とも協調

スポーツの振興

健康増進・産業振興・国際交流促進



地方公共団体・観光団体・スポーツ団体・企業など 地域内の連携・協調の推進

スポーツを活用した観光まちづくり

実証実験・調査

マーケティング

観光立国の実現

経済効果

スポーツツーリズムの推進に向けた基本的方向

- 動せるスポーツコンテンツづくり とスポーツ観光まちづくり
- ・まちづくり施策と連動した地域固有 のスポーツコンテンツ開発
- ・地方公共団体・スポーツ団体・観光 団体・企業の地域連携・協働による スポーツコミッションの設立促進
- ・情報整理・発信強化、多言語対応 等の受入インフラの整備

- 国際競技大会の 積極的な招致・開催
- ・招致・開催への積極的な挑戦による ノウハウの構築
- ・国際競技大会招致に向けた国家的 な支援体制づくり
- ・関係者との情報共有と地域住民 の理解・協力による規制への対処
- ・招致・開催後のマーケティングやプロ モーションによる更なる広がり

- ③ 旅行商品化と 情報発信の推進
- ・日本のスポーツツーリズムブランドの 構築と積極的な魅力発信
- ・外国人旅行者向けのチケット販売 方法の構築と多言語での情報発信
- ・きめ細かいニーズ調査と幅広い商品 開発、集中特化したプロモーション
- ・国内におけるスポーツツーリズム推進 の機運醸成と顕彰制度の創設

- 4 スポーツツーリズム 人材の育成・活用
- ・スポーツツーリズムを担う人材認定 制度の創設と人材情報の集約
- ・トップアスリートの経験を生かしたセカンドキャリアとして人材活用
- ・外国人を活用した国際的に通用 するコンテンツづくりと情報発信
- ・大学等での教育機会や幼少期から のスポーツと旅の機会の充実

オールジャパンのスポーツツーリズム推進連携組織(JSTA)の創設

全国のスポーツ団体・観光団体・企業のネットワークを強化し、上記①~④の支援を中心に海外との窓口となって我が国のスポーツツーリズムを推進